

1 最近発見された彗星の軌道要素 (前回からの続き)

No.	天体名 (仮符号)	T(TT)	e	q (au)	$\omega$ (°)	$\Omega$ (°)	i (°)	観測期間	観測数	発見観測 (UT)
63	C/2024 T5	E2027/4/25.0 2027/5/6.64	1.00	3.84	352.50	100.68	52.39	2024/10/2 2024/12/21	- 164	2024 10/2
64	P/2024OC2	E2024/10/17.0 2024/10/9.33	0.77	0.59	258.54	136.62	7.67	2024/7/9 2024/11/12	- 35	2024 7/28
65	C/2024 V1	2025/4/4.07	0.99	2.32	168.64	328.20	54.62	2024/10/28 2024/12/23	- 69	2024 11/8
66	C/2024 V2	2024/11/3.88	0.97	1.24	13.77	102.23	95.98	2024/11/10 2024/12/8	- 53	2024 11/10

※M. P. E. C. 11月30日発行分までに発表された彗星

(1) 周期彗星一つ紹介

○ P/2024 OC2 (PANSTARRS)

2024年11月6.6日 UT に、ハワイ大学天文学研究所の David J. Tholen 氏がマウナケア山の 3.6-m カナダ-フランス-ハワイ望遠鏡を使ってアポロタイプ小惑星 2024 OC2 の観測を試みていたところ彗星であることを発見した。(CBET No. 5473)

P/2024 OC2 (PANSTARRS)

Epoch 2024 Oct. 17.0 TT

= JTD 2460600.5

T = 2024 Oct. 9.3277 TT

e = 0.774250

q = 0.592829 au

$\omega = 258.5388^\circ$

$\Omega = 136.6184^\circ$

i = 7.6712°

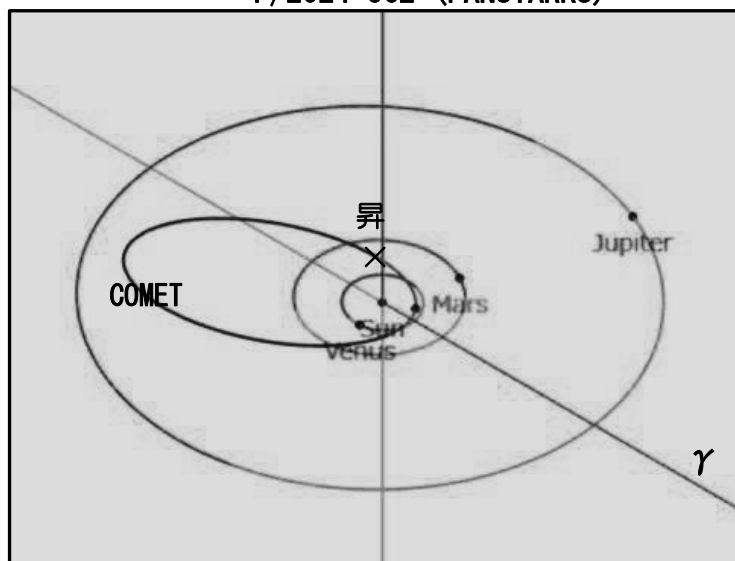
a = 2.6260 au

P = 4.3 年

35 observations from 2024

July 9 to 2024 Nov. 12

mean residual = 0.43 (水星から海王星までの8惑星の摂動を含む)



※軌道図は NASA/JPL Small-Body Database Lookup の Orbit Viewer にて作成

○この彗星の惑星への接近の様子

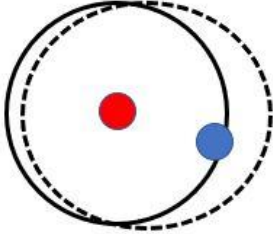
2059年	2月	17日(TT)	火星	0.030 au
1973年	8月	2日	地球	0.046 au
1961年	1月	24日	地球	0.107 au
1960年	11月	19日	金星	0.086 au

## 2 地球近傍小惑星 (near-Earth asteroids) について

(1) 地球近傍小惑星の定義 近日点距離 ( $q$ )  $< 1.3$  au の天体

(2) 地球近傍小惑星の分類 ※地球軌道の遠日点距離 1.017au 近日点距離 0.983au

### 《アポロ群 : Apollos》

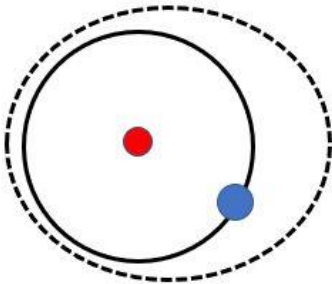


軌道長半径 ( $a$ )  $> 1.0$  au

近日点距離 ( $q$ )  $< 1.017$  au

地球より大きな軌道長半径を持ち、その軌道の半分以上が地球軌道の外側にある。

### 《アモール群 : Amors》

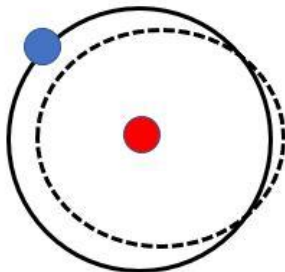


軌道長半径 ( $a$ )  $> 1.0$  au

$1.017$  au  $<$  近日点距離 ( $q$ )  $< 1.3$  au

地球軌道に外接しているが地球軌道と交差することはない。

### 《アテン群 : Atens》

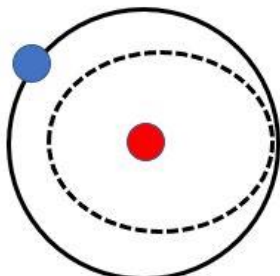


軌道長半径 ( $a$ )  $< 1.0$  au

遠日点距離 ( $Q$ )  $> 0.983$  au

軌道長半径が 1 au より小さい。軌道の半分以上が地球軌道の内側にある。

### 《アティラ群 : Atiras》



軌道長半径 ( $a$ )  $< 1.0$  au

遠日点距離 ( $Q$ )  $< 0.983$  au

軌道が完全に地球軌道の内側に入り、遠日点で地球軌道に接する。

※地球近傍小惑星の定義、分類は NASA ホームページ NEO Basics, NEO Groups による。

## 3 COMET C/2024 G3 (ATRAS) の増光

標記の彗星が最初の予想以上に急激に明るくなっている。新しい光度予報では、近日点通過の頃にはマイナス 3 等級になる。(CBET No. 5488)。南に低く、残念ながら日本では見えないと思われる。